高額療養費支給の際の領収書提示をなくせ

答 見直しの余地はある検討する

江藤 高額療養費制度とはどのような制度か。

町長 医療費の自己負担額が高額になった時に、経済的な負担を軽減することを目的とする制度である。３ヶ月毎に、申請いただくように対象者に、通知を出している。

江藤 高額療養費の支給漏れはないか。

町長 領収書の紛失などにより、全額支給できなかったケースは少なからずある。

江藤 近隣自治体の状況はどうか。

町長 レセプトの確認により支給しているところもある。

江藤 ３ヶ月分の領収書を保管するのが難しい方もある。レセプトに基づいて全額支給すべきではないか。

町長 職員の事務負担軽減も考慮すると、見直しの余地はある。検討を進めたい。

利用者が増えているふれあいタクシー

その他

ふれあいタクシーの利用状況や課題について質問した。昨年９月から利用料が半額になったことにより、以前より2割程度利用者が増えている。今後も、増えることが予想される。できる限り利用者の希望に、対応できるよう運行台数の確保などに努めたいとの回答を得た。

江藤美代子 議員

人材育成とその基本的な考え方は

答 職員は財産 町発展のために資質向上を

山下 人材育成基本方針が策定されるが、基本的な考え方は。

町長 職員が主体的に意見を出し合い協力して進めている。

山下 職員の人事交流の考えは。

町長 スキルの向上や新しい視点の知識を得て組織全体の向上にもつながる。国への研修生１名派遣を検討している。

山下 ウェルカムバック制度の検討は。

町長 趣旨自体には賛同する。競争試験の原則を踏まえ採用方法など研究を重ねる。

山下 ロゴチャット導入後のインナーコミュニケーション向上ははかれているか。

町長 88グループが活動しており、活発な情報共有が図られていると考えている。町長自身も職員同士の一体感を図るため月刊『ワンチーム・ワンヒロカワ』を発行している。

その他

役場職員の働き方改革について質問した。住民の利便性が一番であるが、オンライン申請やコンビニ交付などDX化を進めるとの答弁であった。

町職員は研修を通してスキルアップ！

山下 茂 議員